

令和4年8月2日

飯舘村で学生は今日も元気に活動しています
『いいたて村の村民食堂 2023』
『こちら5合目、応答せよ！ vol.2』 始動！

飯舘村を舞台に、昨年10月から始まった、村民と福島大学行政政策学類生が協働して企画・運営する2つのプロジェクト「いいたて村の村民食堂」「こちら5合目、応答せよ！」は、パワーアップして今年も開催されます。

「村民食堂」は飯舘村の日常食を気軽に味わうことができる食堂です。村民が作る漬物をメインに学生が作る味噌汁を加えた「一汁一菜膳」が提供されます。

「こちら5合目、応答せよ」は、①村民、②移住者、③福島大学生がそれぞれ、飯舘村の魅力や課題に取り組むワークショップ（WS）シリーズです。今年度は20のWSを通じて、飯舘村の復興を応援します。（2ページ目ワークショップ一覧参照）

2022年10月に始まった飯舘村を舞台にした2つのプロジェクト「いいたて村の村民食堂」と「こちら5合目、応答せよ！」は終了後に多くの方から「来年度もぜひ継続してほしい」、「自分もワークショップの提供者となってみたい」という声を受けて、今年も2つのプロジェクトを充実/継続します。

「いいたて村の村民食堂」は、村民が作る手作りの「漬物」をメインに、2種のおこわと学生の作る味噌汁がついた「一汁一菜膳」を提供する食堂です。毎回30名を超えるお客様が、村の日常食を気軽に味わいながら交流を深める貴重な「食堂」に成長しています。村の高齢者にとっては「懐かし」く、また若い大学生にとっては「新しい」味でもある「一汁一菜膳」を、今年も継続して月1回のペースで開店していきます。魅力ある漬物と村の豊かな日常食の世界を覗きに、会場である飯舘村の「までいな家」にお越しください！

「こちら5合目、応答せよ！」は、飯舘村を舞台に、①村民②移住者③福島大学生の3者がそれぞれの立場から、飯舘村の魅力を肌で感じ、また、村が抱える課題の解決を目指して各種ワークショップをシリーズで提供するものです。2023年度も魅力的な20のプログラムが用意されていますが、今年度は、「放射能災害の爪痕が残る中で、いかに飯舘の自然と生活文化の魅力を伝えていくか」という大きな課題に取り組むプログラムを充実させました。

飯舘村民と福島大学生との長年の協働があって実現した2つのプロジェクト。ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしています！

なお本事業は、行政政策学類大黒ゼミと、「一般財団法人飯舘までい文化事業団」との共同企画です。

「こちら5合目、応答せよ！」ワークショップ一覧

- ①昔ながらの紫蘇ジュースを商品化—きみも今日から「食」の6次化プロデューサー
- ②真夏の宝さがし—「イータテベイク」を掘って!学んで!食べて!
- ③あんたの山Tつくりさこ!—自分だけの「福島の山T」をつくろう
- ④図図倉庫の巨大扉はあなたの芸術作品—草木の標本扉づくりワークショップ
- ⑤知ってる英語で十分!—オーストラリアのケーキを作ってみっぺ
- ⑥それは、歴史をたどる旅。—塩の道ウォークラリー第1弾
- ⑦あなたのまわりには豊かな野草がいっぱい!—身の回りの野草を集め、薫りたかいオリジナル野草茶を作ろう!
- ⑧「までいな村」の自分史—村民一人ひとりがつくってきた村の歴史を辿ろう①
- ⑨飯舘で活動する大学生、集まれ!—料理を作って参加する「持ち寄り」の長泥交流会
- ⑩までいなくらしを楽しむ—裂き織りコースターで味わうお茶の時間
- ⑪私たちの心の山をもう一度—空間線量を測定しながら虎捕山に登る
- ⑫真宗門徒の心のよりどころ—善仁寺で仏さまの教えを知る
- ⑬福島大学と飯舘村はながいおつきあい—伝統技術「ほぞ組み」をつかったフラワーボックスに飯舘の花を飾ろう
- ⑭伝統の技と食をピザに—飯舘村の食材で世界に1枚の「までい」なピザづくり
- ⑮震災前の夢を再び。—もち米「あぶくまもち」を使って新たな名産品「いいたておやき」の試作会
- ⑯飯舘の自然とキャンドルのコラボ—オリジナルキャンドルボックスでクリスマスを迎えたい!
- ⑰親子で参加するワークショップ—シマエナガちゃんをお家に招こう!
- ⑱飯舘の寒さを活かした保存食—あなたにつなぐ凍み餅の作り方、食べ方
- ⑲伊立村と台湾をつなぐ絆—台湾キッチンTAROTAROのパイナップルケーキ
- ⑳新たに一般募集する「チャレンジプログラム!」

(お問い合わせ先)
行政政策学類准教授 大黒 太郎
電話: 024-548-8026
メール: a027@ipc.fukushima-u.ac.jp

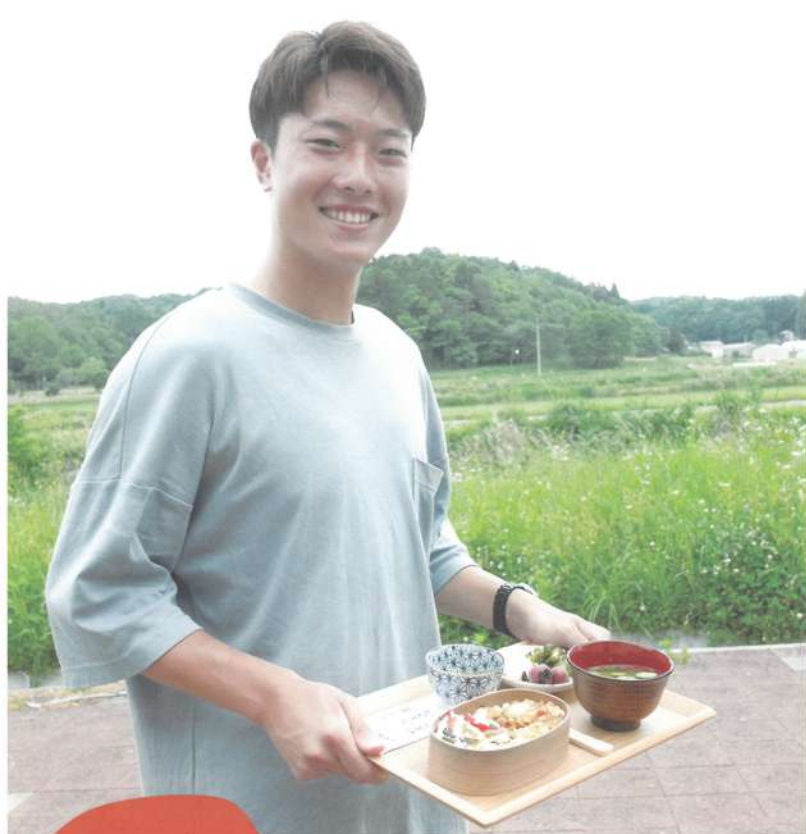
村民と 福喜大学 行 協賛 大黒ゼミ生と一緒に開く

開店

いたて村の

村民食堂

2023



通常版は毎月第4金曜日開催!

■ 開店日(通常版)

※2月は第3金曜日開催です。

6月23日(金)・7月28日(金)

8月25日(金)・9月22日(金)

10月27日(金)・11月24日(金)

12月22日(金)・1月26日(金)

2月16日(金)・3月22日(金)

■ 時間 11時～15時(ラストオーダー14時)

メニューは一つ!

飯舘村の日常食

一汁一菜膳 500円

漬物・みそ汁・おこわ二種 ※限定30食



スピノフ企画も開催予定! 日程はホームページや Instagram をご確認ください。

場所までいな家

〒960-1892 \ 役場隣り / 飯舘村伊丹沢字伊丹沢 578 番地 1

※会場は変更となる場合がございます。ホームページで随時お知らせいたします。



いいたて村の 村民食堂

「いいたて村の村民食堂」は、村民と福島大学行政政策学類大黒ゼミ生と一緒にあって、飯館の「食」の伝統を守りながら、新しいことにチャレンジする食堂を目指します！

おこわとみそ汁の香り。漬物をかじったときの音。食べるまじりとする飯館の日常食を、「一汁一菜膳」（漬物、みそ汁、おこわ飯二種）として気軽に楽しめる食堂が村民食堂です。梅干しや味噌漬けなど、季節によって変わる「二菜」が食事の真ん中にある食の伝統を、村のばーちゃんたちと学生と一緒にあって、これからも、大切に守っていきます。

そして、私たちはさらなるチャレンジも。村民食堂は、一汁一菜膳のほかにも、スピンオフとしてさまざまな食の提供を企画しています。

たとえば、飯館にやってくる海外の友人たちが故郷で食べてきた普段食。学生たちの出身地、全国各地のご当地食。飯館に移住してきた方や、飯館を応援したい人たちの自慢のメニューなど。飯館村への移住を考える方々が、お試しで開く一日限定食堂も予定しています。

詳しくはホームページまたはInstagramをご覧ください。

村の方も、村にやってくる方々にも、気軽に飯館の「食」を楽しんでいただける村民食堂を目指します。

通常開催

村のおばあちゃんと大学生が一緒になって作ります。

村で昔からつくられてきた漬物を中心におこわとお味噌汁がつく

「一汁一菜膳」をお出しします。

スピンオフ開催

通常開催の他に様々な「食」の提供にチャレンジするスピンオフ企画。

飯館村にゆかりのある様々な方とコラボした「食」をご提供します。

村民の方や「飯館に移住したい！」「応援したい！」「お店をやってみたい！」という方など…

こちらは不定期開催です。

開催情報はホームページまたはInstagramをご覧ください。

募集

食堂を使って

お試しでお店を開いて

みたい方、「食」で飯館村を

応援したい方募集！

詳細はお問い合わせください。

ホームページ



Instagram



「までいな暮らし普及センター」

場所 **までいな家**

〒960-1892 \役場隣り/
飯館村伊丹沢字伊丹沢 578 番地 1

※会場は変更となる場合がございます。ホームページで随時お知らせいたします。

主催 一般財団法人飯館までいな文化事業団 協力 福島大学行政政策学類大黒ゼミ

お問い合わせ 一般財団法人 飯館までいな文化事業団 事務局 tarotaro@furusato-bunka.jp

このチラシは福島県「令和5年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業」の補助金の交付を受けて作成しています

一緒に作って、
一緒に食べよう！



飯館村体験博覧会

vol.2

こちらら
ら合目、
庭合せは
まごいなきヨウ
の
登りかた

KOCHIRA
GO-GOME,
OUTOUSEYO!



特設 Web サイト公開! ~村を楽しむ 20 のプログラム~

2023 **8.1 tue** → 2024 **3.22 fri**

2023年7月24日(月)13:00より受付開始(事前申込み制)

主催 一般財団法人飯館までい文化事業団
共同企画 福島大学行政政策学類 大黒ゼミ

「こちらら」

5合目、

応答せよ！

「までいな山の登りかた」

山間の高原に広がる美しい村、飯舘。

時に厳しい高地の自然と向き合い、村民同士が支え合うことを当たり前に、人々は「まです」な暮らしを育み、自らの目指す村づくりに励んできました。

そんな村を東日本大震災が襲ったのは12年前のこと。原発事故の影響で、これまで紡いできた暮らしを置き去りに、全村避難を余儀なくされました。

それでも、それまでの暮らしやまですな村づくりへの想いがゼロになったわけではありません。

全村避難が始まるうとしていたそのとき、ある村民がこう話していました。

——「村づくりは8合目、9合目まで来ていたんだ。

《こちらら合目、応答せよ！——まですな山の登りかた参加規約》

1 事前予約

- 参加には事前の申込みが必要です。
- 申込み後、主催者から予約確定の連絡をします。2～3日経っても予約確定の連絡がない場合は、各ワークシヨップの問い合わせ先に連絡してください。
- 申込み締切日前に定員に達したプログラムについては、申込みを締め切ります。

2 自己責任

- 運営事務局は、各プログラムにおける怪我や病気、事故などについて一切の責任を負いません。

3 プログラム主催者の指示など

- プログラム主催者及び「こちらら5合目、応答せよ！——まですな山の登りかた」運営事務局の指示・注意事項に従ってください。

4 料金及び参加規約

- 料金は大人も子どもも全て一律です。

- 小学生以下の方は必ず保護者同伴で参加してください。

5 プログラムの中止及びコースの変更

- 当日の天候や感染症の蔓延状況等により、プログラムの中止もしくは内容を変更する場合があります。
- ※プログラムを中止するときは、主催者より参加者に連絡します。

6 服装、持ち物

- 各プログラムに適した服装でお越しください。
- ※万が一に備えて、健康保険証のコピーをご用意ください。

7 飲食

- 食材アレルギーがある方は、申込み時及び当日に、スタッフに申し出てください。

8 キャンセル

- やむを得ずキャンセルする場合は、必ず前日までに各プログラム主催者へ連絡してください。

本プロジェクトを実現するにあたり、「奥会津体験博覧会『せど森の宴』」を参考にさせていただきました。スタッフの方々の協力を得ました。(2022年度)心より感謝申し上げます。

「奥会津体験博覧会『せど森の宴』」公式WEBサイト

▼ <https://okazuzin.info>

放射能汚染や避難があったって、これまで積み重ねてきたものはゼロになりはしない。5合目からの再出発だ」

これまでの村づくりの理念、それを支えた人々、村の伝統や手業。

村が決して失わなかったものから始め、復興の高みに向けて歩み続ける人たちがいます。みなさんにも、私たちと一緒にこの「までい」な山に登ってほしい。

村民、移住者、村に関わる大学生。

それぞれが考える「飯館村の暮らし」を体験できるプログラムを用意しました。

復興までの山の登り方はひとそれぞれ。村の人もそうでない人も。若い人も、人生を積み重ねた人も。ゆっくりしたり、寄り道したり。丁寧に、時にはかっこよく。

「こちら5合目、応答せよ！」——やまびこの声にこたえながら、楽しく山を登ってください。

一般財団法人 飯館までい文化事業団

福島大学行政政策学類 大黒ゼミ

もくじ

参加の手引き・感染症対策について……4

プログラム……5

1 昔ながらのしそジュースを商品化！ きみも今日から「食」の6次化プロデューサー……5

2 真夏の宝探し 「イータテバイク」を掘って！ 学んで！ 食へて！……5

3 あんだの山Tづくりさこ！ 自分だけの「福島山T」をつくらう……6

4 図図書館の巨大扉はあなたの芸術作品 草木の標本扉づくりワークショップ……6

5 知ってる英語で十分！ オーストラリアのケーキを作ってみっぺ……7

6 それは、歴史をたどる道。 塩の道ウォークラリー第1弾……7

7 あなたのまわりには豊かな野草がいっぱい！ 身のまわりの野草を集め、

薫り高いオリジナル野草茶を作ろう！……8

8 「までいな村」の自分史―村民一人ひとりがつくってきた村の歴史を辿ろう……8

9 飯館で活動する大学生、集まれ！ 料理を作って参加する「持ち寄り」の長泥交流会……9

10 まいでいならしを楽しむ 裂き織りコースターで味わうお茶の時間……9

11 私たちの心の山をもう一度 空間線量を測定しながら虎捕山に登る……10

12 真宗門徒の心の拠りどころ 善仁寺で仏さまの教えを知る……10

13 福島大学と飯館村はながいおつきあい 伝統技術「ほぞ組み」をつかった

フラワーボックスに飯館の花を飾ろう……11

14 伝統の技と食をピザに 飯館村の食材で世界で一枚の「までいなピザ」づくり……11

15 震災前の夢を再び。もち米「あぶくまもち」を使って

新たな名産品「いたておやき」づくり……12

16 飯館の自然とキャンドルのコラボ オリジナルキャンドルボックスでクリスマス

を迎えたい！……12

17 親子で参加するワークショップ シマエナガちゃんをお家に招こう！……13

18 飯館の寒さを活かした保存食 あなたにつなぐ凍み餅の作り方 食へ方……13

19 飯館村と台湾をつなぐ絆 台湾キッチンTAROTAROのバイナップルケーキ……14

20 チャレンジプログラム募集！……14

プログラムカレンダー・集会場所MAP……15

1

参加したいプログラムを見つけたら、
各プログラム指定の申込み方法で応募する。

＜お申込みの注意事項＞

- 受付は先着順です。お申込み後、事務局・主催者からの返信をもって参加決定となります。
- 受付開始日は大変混み合うことが予想されます。あらかじめご了承ください。
- プログラムにより申込み方法、申込み期限が異なります。よくご確認ください。

2

やむを得ずプログラムに参加できなくなった場合は、
早めにお申込み先^{*}へご連絡ください。

※各プログラムに記載

集合場所へは
20分前までに
お越しいただけると
受付がスムーズです！

3

参加費はプログラム開催当日に現金でお支払いください。

受付開始

2023年7月24日(月) 13:00～

＼お問合せ／

こちら5合目、応答せよ！～までいな山の登りかた～

運営事務局（一般財団法人飯舘までい文化事業団内）

〒960-1106 福島県福島市下鳥渡扇田 30 番地の 3

TEL 024-597-6800【平日 9:00-17:00】

MAIL tarotaro@furusato-bunka.jp



◀ 特設 Web サイト
<https://furusato-bunka.jp/5gome/>

新型コロナウイルス 感染症対策について

●感染症その他事故を含め、原則自己責任での参加となります。

●各プログラムにご参加の際は、感染症対策にご協力ください。

プログラムの実施にあたって

- 感染状況等への対応 感染状況、もしくはその他の社会状況によって、プログラムの実施日時を変更、中止する場合がございます。
- 健康・衛生管理の徹底 プログラム主催者は自己の体調管理を徹底し、こまめに手洗い、うがい、換気、道具の消毒を行います。



お孫ちゃんのために毎年しそジュースを作っている西尾さん。飯館にある自宅の畑に通い、赤しそも手ずから栽培しています。地域支援コーディネーターとして、学校の子どもたちと関わるお仕事もしている頼れるお母さんです。

案内する人

西尾 ツネさん



2023

8/1(火) 13:05-15:30

集合：飯館村「までいな家」(飯館村伊丹沢伊丹沢 578 番地 1)

駐車場：あり

定員：10名

参加費：1,200円

- お申込み 予約フォーム、または電話にて。
※事務局からの返信をもって参加確定となります。
- ※お子さまと一緒に参加も大歓迎です！



予約フォーム

- お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団(担当：曾田)
TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp

昔ながらのしそジュースを商品化！
きみも今日から「食」の
6次化プロデューサー

色鮮やかな自分だけの赤しそジュースを作
りましょう！炭酸で割る、牛乳で割る、ホッ
トで飲む、はたまたお酒で割る？楽しみ方は
無限大。村のお母さんから作り方を教わり、
オリジナルの赤しそジュースを作ります。

赤しそジュースを商品化するのが私たちの
今日のミッション！できたジュースをパッ
ケージに詰め、殺菌処理を行います。そして、
この赤しそジュースが人気商品になるよう
見栄えのよい手描きラベルを作ります。

ご自身で書いたラベルを貼ると、お持ち帰
りのお土産が完成です。ワークショップの成
果を活かして、赤しそジュースが飯館のお土
産に加わる日も、もうすぐです！



飯館村の「イータテベイク」と水稲「あぶくまもち」に着目し、交流・賑わいづくり、分析・商品開発、生産・環境から魅力度向上に取り組んでいます。

案内する人

福島大学 食農学類
「飯館村フィールド」さん



▲菅野元一さん



2023

8/11(金・祝) 8:00-11:00

集合：合同会社二コニコ菅野農園(飯館村草野字七郎内 95)

駐車場：10台程度利用可能

定員：10名程度(先着順)

参加費：500円

- 備考：※現地集合、現地解散を予定しています。
- ※グループで参加する場合は、乗り合わせてお越しください。
- ※汚れてもよい服装で、軍手・長靴をご持参ください。
- ※熱中症対策にご注意ください。・小雨でも実施します。
- ※メールでの申込みの場合は、氏名・電話番号・年齢・同行者人数、交通手段(車の台数)をご記入ください。

- お申込み、お問合せ 福島大学 食農学類 原田英美 研究室(担当：原田)
TEL: 024-503-4985 MAIL: f2110072@ipc.fukushima-u.ac.jp



予約フォーム

真夏の宝探し
「イータテベイク」を
掘って！学んで！食べて！

「イータテベイク」は、飯館村の菅野元一さんが育成した、無肥料・無農薬で栽培できる、小ぶりのいもです。料理では煮崩れしにくく、とろみがつきます。村の名前がついた「イータテベイク」の魅力を多くの人に知ってもらうため、畑での「いも掘り」、食堂での交流会で、そのよさを体感できるワークショップです。「イータテベイク」を栽培してみたい人、食べてみたい人、交流を楽しみたい人の参加をお待ちしています。



案内する人

フリーデースクリンさん

2015年「FRIDAY SCREEN」

活動開始。地域に密着したプロダクトやグラフィック動画やアニメーションといったデザインの仕事のほか、ワークショップイベントなどの企画・運営。また、「福島の山」というシリーズで福島県内の山をモチーフにしたTシャツやバッグを製作・販売している。



2023

8/26(土) 10:00-12:00

集合：飯館村「までいな家」(飯館村伊丹沢伊丹沢 578 番地 1)

駐車場：あり

定員：10名

参加費：3,500円

備考：申込みの際、Tシャツのサイズをご指定ください。(キッズ 90-160、SMLXL)

※1名につき1枚かぎり

○お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。

※メールの場合は氏名・電話番号・参加人数をご記入ください。

※申込み締め切りは8月18日(金)となります。

※事務局からの返信をもって参加確定となります。

○お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団(担当：曾田)

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



予約フォーム

あんだの山Tつくりかい！
自分だけの「福島の山T」をつくらう
福島の山と言えば、会津なら磐梯山、二本松なら安達太良山。では飯館村なら…野手上山！
このワークショップでは、飯館村の野手上山をモチーフにした自分だけのオリジナル山Tシャツをつくることができます。
デザインもシルクスクリーンも体験してみましょう！お手伝いしますのでだれでもご参加ください。もちろん子どもも参加OK。家族みんなで参加して一緒に着るのもよし。これを着て野手上山を散策するのもよし。飯館の山を楽しみましょう！



案内する人

図図倉庫

矢野 淳さん

分野・地域・世代の垣根を越えて多様な人が集まり、飯館村や世界が抱える環境課題と、これからの地域環境づくりにアプローチする秘密基地、図図倉庫。交流の場、そして人と環境をつなぎ、循環を生み出すきっかけをつくります。



2023

8/27(日) 10:00-12:00

集合：図図倉庫(飯館村深谷二本木前 5-1)

駐車場：10台程度の利用が可能

定員：10名

参加費：1,000円

備考：ワークショップはレジンを使用します。マスクをお持ちください。

手袋はこちらでご用意します。

○お申込み 予約フォーム、または電話にて。

※申込み締め切りは8月20日(日)となります。

※事務局からの返信をもって参加確定となります。

○お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団(担当：曾田)

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



予約フォーム

図図倉庫の巨大扉はあなたの芸術作品
草木の標本扉づくり
ワークショップ
ホームセンター跡地につくる、地域環境づくりの秘密基地空間「図図倉庫(ネットソーコ)」。
地域の方々、専門家や研究者たち、そして村を応援する支援者たちと一緒に作り上げているこの空間に、あなたも参加しませんか？
現在正面の扉の改装計画を実行中。飯館の草木を閉じ込めた、まるで巨大植物標本のような扉をつくりたい。今回は机にのるサイズの木枠に草木をレジンで閉じ込めるワークショップです。扉は秋頃完成予定。
5名目参加者のみなさんには、草木をレジンで閉じ込めた小さなしおりをご自身で作る、記念にお持ち帰りいただきます。



案内する人
 コーヒーポアハウス
 横山 梨沙さん
 オーストラリアにてパリスタとして修行し、現在飯館村の地域おこし協力隊として活躍しています。コーヒー屋の食器として食堂運営し、コーヒーポアハウスとしてカフェも運営英語も教え、作るお菓子も美味しいというスーパーパリスタです。



知ってる英語で十分！ オーストラリアのケーキを作ってみっぺ

飯館村に語学留学！
 オーストラリアの家庭的なケーキづくりを体験します。講師は渡豪してパリスタとして経験を積んだ横山梨沙さん。まるでホームステイしたかのように英語で作り方を教えてくださいます。
 英語が苦手な方にはこっそり日本語でもお教えしますので、ご安心ください。
 完成したケーキを囲み、コーヒーを飲みながら、オーストラリアやデザートの話で面白い盛り上がりましょう！



予約フォーム

2023

9/23(土) 13:05-15:00

集 合：コーヒーポアハウス（飯館村草野字大師堂 65）

駐車場：あり

定 員：8名

参加費：2,500円

○お申込み 予約フォーム、電話にて。

※申込み締め切りは9月11日（月）となります。

※事務局からの返信をもって参加確定となります。

○お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団（担当：曾田）

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



案内する人
 佐藤 俊雄さん
 飯館村役場に42年勤めた歴史愛好家。歴史好きの原点は小学4年生まで遡ります。当時、飯館村飯館地区の近くの開墾田から土器が出土し、佐藤少年の心は大いに揺さぶられ、時の流れの偉大さに目撃された。現在は、村で文化財、社寺仏閣のお話になると必ずお声がかかるお方です。



それは、歴史をたどる道。 塩の道ウォークラリー第1弾

塩や海産物を内陸に運ぶために使われた道、塩の道。浜通りと中通りをつなぐ飯館村にもこの道は存在します。生活にかかせない道だからこそ、多くの歴史があり、それを垣間見える文化財が多く残っているものです。そんな道を地域の文化財に詳しい方のガイド付きで散策します。
 参加者には道のみが描かれたマップを配布。ガイドの方のお話を聞きながらメモをとり、マップを完成させましょう！
 当日は八木沢から若原、関沢に抜け、草野でゴールです。



予約フォーム

2023

9/24(日) 9:00-14:00

集 合：交流センターふれ愛館（飯館村草野大字堂 17）

駐車場：あり

定 員：10名

参加費：1,000円（お弁当付き）

備 考：約6キロ歩きます。運動に適した格好でお越しください。飲み物などはご準備ください。

○お申込み 予約フォーム、または電話にて。

※申込み締め切りは9月10日（日）となります。

※事務局からの返信をもって参加確定となります。

○お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団（担当：曾田）

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



福島県の山里の古民家を修復し、自然とともに暮らしながら、体に優しい玄米がゆや野草茶の魅力を、著作や講演で伝えていきます。
<https://www.minamito-hoku.or.jp/up/news/southern-cross/200605/sakaino.htm>
 著書『化学物質に頼らない自然暮らしの知恵袋』『よく効く手づくり野草茶(じれも創森)など』

案内する人
 暮らし研究工房
 境野 米子さん



あなたのまわりには豊かな野草がいっぱい！ 身のまわりの野草を集め、 薫り高いオリジナル 野草茶を作ろう！

野草茶とは本来、身近な野草を集めて乾燥させ、いくつかの種類をブレンドして作るものです。
 原子力災害被災地である飯館村でも、注意深く、そしてまていに作業を重ねていけば、飯館村の野草を使ったオリジナルブレンドの野草茶を作って楽しむことができます。
 村内の除染された畑でできる大葉や赤紫蘇、荏胡麻、かぼちゃの種、ヨモギ、ウコギなど、野草茶づくりの材料は、きちんと放射線検査を行ったうえで私たちが準備します。また、ご自身の畑や自宅の敷地などで目にする野草を集め、調べ、そして(必要ならば放射線検査をしたうえで乾燥させて、当日お持ちいただくこともできます。持ち寄った野草をブレンドして、オリジナルな野草茶を作り、飲んで楽しい時間を過ごしましょう！



予約フォーム

2023

10/1 (日) 13:05-15:00

集合：まていな家 (飯館村伊丹沢伊丹沢 578 番地 1)
 駐車場：あり
 定員：15名
 参加費：500円

備考：お申込みになられた方には、野草の集め方やどんなものが野草茶にできるかといった小さな資料をお送りいたします。オリジナルな野草茶を作りたい方は、ご自身で準備した野草を乾燥させ、当日お持ちください。放射線検査ができる場所もご紹介いたします。

- お申込み 予約フォーム、電話、またはメールにて。
- お問合せ 一般財団法人 飯館まてい文化事業団 (担当：曾田)
 TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



話を聞く人
 菅野 典雄さん
 第1回目の「まていな村の自分史」では、飯館村佐須の菅野典雄さんをお迎えします。菅野さんは、帯広畜産大学を卒業後、故郷飯館で酪農を営み乳牛60頭を飼育するかわたら、飯館村公民館の嘱託館長を務め、その後1996年から6期24年にわたって村長を務めました。飯館の村づくりを見守り、協力してきた福島大学の教授たちの対談形式で実施します。



「まていな村」の自分史― 村民一人ひとりがつくって きた村の歴史を辿ろう

飯館村は、多くの村民がそれぞれの立場で村づくりに参加してきた歴史があります。
 一般財団法人まてい文化事業団は、これまでの活動を通じて、村民一人ひとりの「自分史」が「村の歴史」を作ってきたことを実感してきました。「まていな村、いたて」がどのように作られてきたのか、お招きする村民の方にお話しただきながら、明らかにしていきます。
 最初に登場していただくのは、1996年から6期24年にわたり、村政を率いてこられた前村長、菅野典雄さんです。震災前の村づくりから震災後まで、村民そして村長として経験した村民協働の充実の時間や、直面した厳しい選択について、4回に分けてお話を伺います。

2023

①10/7(土) ②11/11(土)
 ③12/2(土) ④1/20(土) 各回 13:05-15:00

集合：まていな家 (飯館村伊丹沢伊丹沢 578 番地 1)
 駐車場：あり
 定員：8名
 参加費：無料



予約フォーム

- お申込み 予約フォーム、電話、メールにて。
 ※申込み締め切りは9月30日(土)となります。
 ※事務局からの返信をもって参加確定となります。
- お問合せ 一般財団法人 飯館まてい文化事業団 (担当：曾田)
 TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



案内する人
 福島大学行政政策学類 大黒セミ
 小沼 拓矢さん・長谷川 綾音さん
 福島大学行政政策学類大黒セミは、震災以降ずっと、その時々に必要なとされる活動を、村民のみさんとともに作ってきました。今年は、長泥地区の皆さんでつくる「長泥復興組合」が開催する「植樹祭」のお手伝いをさせていただきます。私たちと一緒に植樹祭後に開催される「交流会」を準備し、みんなで持ち寄り料理を食べながら、他の大学に通う学生や長泥地区の皆さんと交流し、楽しい時間を過ごしましょう！



2023

10/14(土)/15(日)の2日間

集合：10月14日(土)の10時に福島駅集合、
 15日(日)18時に福島駅解散

駐車場：あり

定員：10名程度

参加費：5,000円(福島一飯館往復、宿泊費を含む)

備考：※2人以上のグループでお申し込みください。※当日持ち込む料理のメニューや材料の調達はグループにお願いしますが、調理施設や宿泊所については、こちらで準備します。※詳細については、申し込み後に大学生グループと事前に打ち合えます。

〇お申込み 電話、またはメールにて。

〇お問合せ 福島大学行政政策学類大黒セミ(担当：大黒)

TEL: 024-548-8026 MAIL: a027@ipc.fukushima-u.ac.jp



予約フォーム

飯館で活動する大学生、集まれ！
 料理を作って参加する
 「持ち寄り」の長泥交流会
 12年ぶりに避難指示が解除された飯館村長泥地区。帰村し、自由に立ち入ることができるようになったとはいえ、取り組むべき課題はたくさん残っています。「長泥のことをもっと知ってもらいたい、多くの方に長泥に来てほしい」――長泥地区の方々の願いのひとつです。
 今回のイベントは、全国各地の大学生に長泥に来てもらい、長泥での「食の交流会」を私たち福島大学生と一緒に企画、実施しようというものです。参加するみなさんには、それぞれの得意料理を調理・提供してもらい、この交流会と一緒に運営します。通う大学や世代、住む場所を超えて、福島で活動する私たちや長泥のみなさんと一緒に楽しい交流会を実現させましょう！



案内する人
 いたてつなげるキルトの会さん
 「ふるさとからの避難を余儀なくされた飯館の女性達が心から楽しめ、集まれる場所を。」
 おしゃべりを楽しみながら村に集まり様々な手仕事をしています。



2023

10/22(日) 10:00-15:00

集合：旧白石小学校(飯館村白石田尻127)

駐車場：あり

定員：10名

参加費：1,500円(昼食付き)

〇お申込み 予約フォーム、または電話にて。

※申込み締め切りは10月15日(日)となります。

※事務局からの返信をもって参加確定となります。

〇お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団(担当：曾田)

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



予約フォーム



までいなくらしを楽しむ
 裂き織りコースターで味わう
 お茶の時間
 震災前から「までいな暮らし」をコンセプトに村づくりをしてきた飯館村。「までい」とは「丁寧に」「手間暇惜しまず」「心を込めて」といった意味の方言で、高原の厳しい環境だからこそ大切にされてきた言葉です。
 震災以降、生きがいづくりとして始まった古着物の小物づくり。今年は、新たな試みである「裂き織り」でのコースター作り挑戦。江戸時代から行われている「裂き織り」で世界に一つだけの素敵なお茶コースターを作ります。そして裂き織りコースターを使ったお茶の時間。できたばかりのコースターを眺め、緑茶から紅茶までそれぞれの皆さんの好きなお茶を飲みながら、ゆったりとした時間を過ごしましょう。



自然豊かな村民の森「あいの沢」管理人。飯館の植物や草木をよく知る福島県認定の森の案内人です。気さくで、豊富な森の知識をたくさんもった大人気のガイドさん。

案内する人
あいの沢管理人
高野 靖博さん



2023

11/3 (金・祝) 10:00-13:00

集 合：山津見神社（飯館村佐須虎捕 266 番地）

駐車場：あり

定 員：15名

参加費：300円

備 考：※必要な方はお昼ごはんをご持参ください。

山頂で自由に過ごせる時間があります。

※トレッキングに適した服装でお越しください。

※飲み物は各自お持ちください。

※雨天中止とさせていただきます（事務局より連絡します）。

○お申込み 予約フォーム、またはメールにて。
※申込み締め切りは10月27日（金）となります。
※事務局からの返信をもって参加確定となります。

○お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団（担当：曾田）
TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



予約フォーム

私たちの心の山をもう一度
空間線量を測定しながら
虎捕山に登る

山の上の高原に広がる豊かな自然に恵まれた飯館村。震災以前は地域の人々で登山道を整備し、気軽に登れる山がたくさんありました。しかし、震災以降長年、森林整備や林業活動が停止していた影響もあり、現在登山道が整備されている山は少ないのが現状です。

最近、昔のように村内での登山を楽しむため、登山道の整備をしようとする動きが出てきました。私たちの心の山、そしてその登山道をもう一度取り戻したい！誰もがいつでも自由に登り、楽しめるようにしたい！

そのための第一歩として、山に登りながらその登山道の線量を測定します。私たちが思っているより、飯館の山の線量は低いかもありません。



浄土真宗本願寺派善仁寺
住職 杉岡 誠順さん

案内する人
浄土真宗本願寺派善仁寺
住職 杉岡 誠順さん

東京生まれ、都会育ちでありながら、機会あることに帰省する飯館村が大好きな子供でした。祖父母が守る飯館村善仁寺をいつか継いで村民としてくらしたいという想いのもと、高校生の時には京都での得度習礼の後僧侶に、物理学をまなぶ大学3年次にはさらに研鑽を重ねて住職資格を得ました。その後飯館村ヘイターン。後場職員の経験を経て、現在は祖父から受け継いだ善仁寺の住職としての務めを果たしながら、飯館村長の仕事もしています。



2023

11/5 (日) 10:00-11:00

集 合：浄土真宗本願寺派善仁寺（飯館村草野字本町 88）

駐車場：あり（数台）

定 員：8名

参加費：無料

備 考：法務・公務等で急遽中止となる場合があります、その際はご容赦ください。

○お申込み 予約フォーム、電話、またはメールにて。
※申込み締め切りは10月29日（日）となります。
※事務局からの返信をもって参加確定となります。

○お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団（担当：曾田）
TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



予約フォーム

真宗門徒の心の拠りどころ
善仁寺で仏さまの教えを知る

約200年前の天明・天保の大飢饉のおり、人口が激減して疲弊した相馬藩を復興させるため、幕末から明治維新期にかけて主に北陸地方から移民してきた真宗門徒が心の拠りどころとして創建したのが善仁寺です。真宗移民は6代以上にわたって相馬領民と手を取りあつて地域の再生と発展を担って来ています。

今回は、日々の生活の中で生まれる「問い」について、浄土真宗のあじわいをもってお話をさせていただきます。ご参加いただく皆さまからも、日頃感じる仏さまや仏教についての疑問をお寄せいただければ、それにお答えしたいと思います。



案内する人
木工房MEGURO
目黒 照枝さん

花と教室野ばり
鈴木 さち子さん

福島大学卒業後、飛騨高山で木工修行に上げんだ後帰郷、現在は福島県柳津町で木工房を開いています。釘やねじを使わずシンプルかつ丈夫な木の温かみを感じてもらおうと木工の教室やWSを行っています。(目黒)

福島市で、花屋とアレンジメント教室を開いています。飯館の草花の魅力を引き出す手伝いをします。(鈴木)



目黒 照枝さん



鈴木 さち子さん



福島大学と飯館村はながいおつきあい 伝統技術「ほぞ組み」をつかった フラワーボックスに 飯館の花を飾ろう

飯館村で育った美しい草花は、手作りの木製ボックスに飾りたい！そんな想いを実現します。

木製ボックスは、釘などの金具を使わない「ほぞ組み」の伝統技法を使って自分の手で組みあげます。圧倒的な丈夫さと木の温もりを感じるこのオリジナルボックスには、飯館産のごま油を丁寧に塗り込んで完成させます。

完成後のボックスには、飯館村の草花(ドライフラワー)を自由にアレンジしながら詰めていきます。村の魅力が満載の、オリジナルフラワーボックスが完成です！



予約フォーム

2023
11/12(金) 13:05-16:00

集合：飯館村「まていな家」(飯館村伊丹沢伊丹沢 578-1)
駐車場：あり (15台程度)
定員：10名程度
参加費：3,000円
備考：木工フレームの組み立て(製作キットを用意します)から、荏胡麻油の塗り込み、ドライフラワーのアレンジづくりまで、本ワークショップには小学生でも参加できます。

〇お申込み 予約フォーム、電話・メールにて。
※申込み締め切りは11月5日(日)となります。
※事務局からの返信をもって参加確定となります。

〇お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団(担当：曾田)
TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



案内する人
気まぐれ茶屋ちえこ
佐々木 千栄子さん

平成16年に、飯館村で採れる山菜や凍み餅、漬物などを提供する地産地消の農家レストラン「気まぐれ茶屋ちえこ」をオープン。翌年には飯館村が福島県内初となる「どぶろく特区」指定を受けたのを機に、オリジナルのどぶろく製造・販売を開始。震災による避難を経験しましたが、村内でのレストランを復活させました。



伝統の技と食をピザに 飯館村の食材で世界で一枚の 「まていな」ピザづくり

「気まぐれ茶屋ちえこ」は、料理の食材集めに細心の注意が必要な飯館村でも、村の自然の豊かさや食の伝統を伝えたいと営業をつづける農家レストランです。平成17年に村が特区指定を受けて以降、「どぶろく」作りも続けています。今回は、そんな村の食材や伝統料理、どぶろくを活かした「ピザづくり」で、世界で一枚しかない「まていな」ピザづくりを目指します。

どぶろくを混ぜて発酵させた生地をベースに、飯館村の食材を具材にして、自分のオリジナルピザを仕上げます。焼き上げるのはレストランに併設されているピザ釜！美味しい飯館風ピザを作り、おなかいっぱい食べましょう！！



予約フォーム

2023
11/18(土) 10:30-13:30 ※終了後も自由にお過ごしください。

集合：気まぐれ茶屋ちえこ(飯館村佐須須 200)
駐車場：あり
定員：8名
参加費：1,000円
備考：調理やピザ窯の炭等で汚れる可能性があります。エプロンなどをお持ちください。材料、食材はこちらで準備いたします

〇お申込み 予約フォーム、電話・メールにて。
※メールの場合は氏名・電話番号・参加人数をご記入ください。
※申込み締め切りは11月11日(土)となります。
※事務局からの返信をもって参加確定となります。

〇お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団(担当：曾田)
TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



もりの駅まごころが開鎖されても、11年間途切れることなく活動してきたNPO法人の皆さん。野菜の栽培から食品加工まで行う頼れる生産者の方々です。村の特産品や新商品の開発にも取り組んでいます。

案内する人
特定非営利活動法人
もりの駅まごころ運営協議会



菊野 里絵さん



震災前の夢を再び。
もち米「あぶくまもち」を使って
新たな名産品「いいたておやき」
づくり

震災前には農産物直売所としてにぎわいを見せていた「もりの駅まごころ」。原発事故に伴い閉業していましたが、昨年加工施設として11年ぶりに再開しました。村の特産品を生み出す拠点として現在使われています。

今回は、「村を盛り上げよう!」と、この施設を運営するもりの駅まごころ運営協議会の皆さんと一緒に、おやきを作ります。震災後栽培が復活したもち米「あぶくまもち」を生地に使い、かぼちゃや大豆など、飯館村でつくられた餡を使用します。当日はそばのふるまいもございます。



予約フォーム

2023

11/26 (日) 10:00-12:00

集合：もりの駅まごころ (飯館村関根谷地向 169-9)

駐車場：あり

定員：12名

参加費：1,000円

〇お申込み 予約フォーム、または電話にて。

※申込み締め切りは7月28日(日)となります。

※事務局からの返信をもって参加確定となります。

〇お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団 (担当：曾田)

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



飯館村に移住したキャンドル作家。村で手間暇かけて育てられた季節の草花を使い、ひとつずつ丁寧に日々のおうちを飾っています。

案内する人
工房マートル



大槻 美友さん



飯館の自然とキャンドルのコラボ
オリジナルキャンドルボックスで
クリスマスを迎えたい!

飯館村は、山の上の高原に広がる豊かな自然に恵まれた美しい村です。冷涼な気候だからこそ昔から花の栽培が盛んに行われてきました。四季折々にあふれる村の草花を使い、家に飾れるキャンドルボックスをつくりたい。まずはキャンドルづくり。工房マートルでつくられたキャンドルに自分で加工を施します。そして、キャンドルを草花で飾り付ける時間。どこに飾ろうか、誰に見せようか、あの人は喜んでくれるかな?きつと楽しい時間になります。

工房マートルの、「こちら5合目、応答せよ!」オリジナルワークショップです。

2023

12/3 (日) 10:00-12:00

集合：工房マートル (飯館村飯樋原 361)

駐車場：5台程度の利用が可能

定員：4名

参加費：2,530円

〇お申込み ご予約はInstagramもしくはFacebookのメッセージからお願いいたします。また、電話・メールでも受けつけております。

代表者名・体験日時と時間・体験人数・当日の連絡先をご記入ください。

申込み締め切りは11月26日(日)です。

〇お問合せ 工房マートル 大槻 美友

MAIL: me04you02@gmail.com TEL:070-8498-5765

Instagram: atelier.myrtle Facebook: atelier.myrtle



Instagram



Facebook



案内する人
クラフト工房 アルベジオ
安藤 千恵美さん
飯館村出身のクラフト作家、古いものや自分で見つけた素敵なものを使ってアクセサリーや小物をつくっています。飯館村にある実家の納屋を自分自身で改装、アトリエを今年オープンしました。



2023

12/16(土) 10:00-11:30

集 合: 屋根裏アトリエ「森の音」(住所は参加される方にご案内致します)

駐車場: あり

定 員: 3組

参加費: 1,500円(シマエナガ2つ、土台1つ分となります)

備 考: お一人での参加も大歓迎です。

○お申込み 予約フォーム、電話にて。

※申込み締め切りは12月9日(土)となります。

※事務局からの返信をもって参加確定となります。

○お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団(担当: 曾田)

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



予約フォーム

親子で参加するワークショップ
シマエナガちゃんを
お家に招こう!
もふもふ可愛いシマエナガをお家にお招きしませんか? ポンポンとフェルトでシマエナガをつくります。目や羽をつけ、草木でシマエナガちゃんが座る台を飾ります。難しい作業はないので、お子さんでも楽しく作業可能です。
今回は、飯館村内にある納屋を改装した屋根裏アトリエ「森の音」で開催します。おひとりの参加も大歓迎!



案内する人
ふるさと飯館なでしこ館
高橋 トク子さん・大黒 太郎さん
飯館村で長年、キムチをはじめいろいろな漬物を作ってきました。手作りの漬物や昔ながらのかしわ餅など村の人に喜んでもらえるものを作り続けていきたいです(高橋)。



2024

1/26(金) 13:30-15:00 (屋食は11:00~13:30)

集 合: まいでいな家(飯館村伊丹沢伊丹沢 578 番地 1)

駐車場: あり

定 員: 10名

参加費: 2,500円(屋食付「村民食堂一汁一菜膳」)

備 考: ※当日 11 時から「まいでいな家」で開催している「いいいたて村の村民食堂」で食事をとっていただいた後、ワークショップに移ります。13 時 30 分までに食事をお済ませください。※当日の飯館村の天候によっては中止になる場合があります。(事務局より連絡します。)※エプロン等をご準備ください。※編んだ凍み餅は持ち帰り、ベランダ等で干して乾燥させてください。

○お申込み 予約フォーム、または電話にて。

※申込み締め切りは1月19日(金)となります。

※事務局からの返信をもって参加確定となります。

○お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団(担当: 曾田)

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



予約フォーム

飯館の寒さを活かした保存食
あなたにつなぐ
凍み餅の作り方、食べ方
冬の寒さを利用してつくる「凍み餅」は、昔から食へ継がれてきた村の保存食です。裏山やいぐねに生える「ごんばっぱ」の葉を、もち米や挽いたうるち米と一緒に搗いて餅にします。餅は稲わらで編み、極寒の時期に軒下に干しておく、「保存できる餅」に現代の「フリーズドライ製法」の先駆けです。ぜひ作り方を覚えて、ご自身で作ってみてください。
ワークショップでは、凍み餅の作り方をお話した後、干す前の餅を味わいながら、餅を稲わらで編みこんでいく、かつて阿武隈地域のどこかの家庭でも見られた冬仕事を体験します。



案内する人
台湾キッチンTAROTARO
大黒 太郎さん

福島大学と台湾の国立台北大学／文
藻外語大学生とが「台湾料理メニュー
を開発しています。すでに、麻婆豆腐
ルーローハン、パイナップルケーキ
豚まん、杏仁豆腐などが商品化さ
れ、定期的に福島県観光物産館など
で提供されています。私たちが提供する
台湾料理には、常に、飯館村の「漬物」
が添えられています。



2024

3/22 (金) 13:00-15:00

集 合：飯館村「までいな家」（飯館村伊丹沢伊丹沢 578-1）

駐車場：あり

定 員：5名

参加費：1,000円

備 考：※エプロンをお持ちください。※パイナップル館以外にも、粒あんや
ずんだあんなど、硬さのある案を使うこともできます。やってみたい方は、オ
リジナルな館をお持ちください。

○お申込み 予約フォーム、または電話・メールにて。

※申込み締め切りは3月10日（日）となります。

※事務局からの返答をもって参加確定となります。

○お問合せ 一般財団法人 飯館までいな文化事業団（担当：曾田）

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



予約フォーム

飯館村と台湾をつなぐ絆
台湾キッチンTAROTAROの
パイナップルケーキ

福島大学生が台湾の大学生たちと毎年、飯館
村での活動を続けてきました。梅干しづくりや
凍み餅づくりなど、飯館村の伝統の食文化を
知ってもらおう取り組みです。

この活動の柱となっているのが「台湾キッ
チンTAROTARO」。両国の学生たちが一緒
にメニュー開発した商品を提供・販売してき
ました。パイナップルケーキは、「台湾キッチ
ンTAROTARO」が作る人気のお土産です。

パイナップル館づくりから、バター生地づく
り、成形、焼き上げまで、家族みんなが喜ぶ飯館
の新しいお土産づくりにチャレンジします。



企画募集 /

20 番目はチャレンジプログラム！

飯館に移住したい、お店を開きたい方のご応募お待ちしております。

事務局まで、お気軽にご連絡*ください。*裏表紙に記載

決定しましたら順次特設 Web サイトにてお知らせします！

飯館村体験博覧会

「こちら5合目、応答せよ！～までいな山の登りかた～」

村民、移住者、村に関わる大学生。

それぞれが考える「飯館村の暮らし」を体験できる 20 のプログラム

プログラムカレンダーと
集合場所マップ

11			10				9		8			
11 (土)	5 (土)	3 (金・祝)	22 (日)	14 (土)	7 (土)	1 (日)	24 (日)	23 (土)	27 (日)	26 (土)	11 (金・祝)	1 (火)
8 自分史② 13:05	12 仏さまの教えを知る 10:00	11 虎捕山に登る 10:00	10 裂き織り 10:00	9 長泥交流会 10:00 2日間	8 自分史① 13:05	7 野草茶づくり 13:05	6 ウォークラリー 9:00	5 ケーキづくり 13:05	4 扉づくり 10:00	3 福島の下 10:00	2 イータテベイク 8:00	1 しそジュース 13:05

3			12			11		
22 (金)	26 (金)	20 (土)	16 (土)	3 (日)	2 (土)	26 (日)	18 (土)	12 (日)
19 パイナップルケーキ 13:05	5 凍み餅 13:30	6 自分史④ 13:05	17 シマエナガづくり 10:00	16 キャンドルボックス 10:00	8 自分史③ 13:05	15 「いいたておやき」づくり 10:00	14 ピザづくり 10:30	13 ほぞ組み 13:05

日時と場所を
ご確認ください



IITATE Village

飯館村は、福島県阿武隈山系北部の高原に開けた豊かな自然に恵まれた美しい村です。
 総面積 230.13 キロ平方メートルの約 75% を山林が占める地形は比較的なだからで、北に真野川、中央に新田川と飯樋川、南部に比曾川が流れ、その流域に耕地が開かれ集落を形成しています。
 年平均気温は約 10 度、年間降水量 1,300mm 前後で高原地帯独特の冷涼な気候にあります。
 2010 年 10 月には「日本でもっとも美しい村」連合の加盟を果たしました。



\お問合せ/

こちら 5 合目、応答せよ! ~までいな山の登りかた~

運営事務局 (一般財団法人飯舘までい文化事業団内)

〒960-1106

福島県福島市下鳥渡扇田 30 番地の 3

TEL 024-597-6800【平日 9:00-17:00】

MAIL tarotaro@furusato-bunka.jp

特設サイト <https://furusato-bunka.jp/5gome/>

